

プロトコール名 DCS(DOC+CDDP/ TS-1併用)療法

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	シスプラチン(CDDP)	30 mg/m ²	div.	1時間	d1, 15
2	ドセタキセル(DTX)	30 mg/m ²	div.	1時間	d1, 15
3	TS-1	80mg/m ²	P.O.		d1-14

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	4週治毎
総コース数	2コース(ただし患者の状態により追加も可能)
コース間での休薬の規定	PLTは7万、WBCは2000/mm ³ 、好中球は1000/mm ³

減量規定・中止基準	Grade4の血液毒性、Grade3以上の非血液毒性
投与量の増量規定	
投与期間の短縮規定	
コースによる変化	DTX→CDDP
1日の中での抗癌剤投与順	
プレメディケーション・ポストメディケーション	<プレメディケーション>グラニセトロン3mg+デキサメタゾン9.9mg +イメンド併用 <ハイドレーション>投与後にフロセミド注20mg→2000ml補液

患者条件 CTCAE v.4.0

PS0-2、主要臓器機能が保たれている

除外基準

- ・DOC、CDDP(または白金を含む製剤)、TS-1に対し重篤な過敏症の既往歴あり
- ・重篤な骨髄抑制、腎障害、肝障害がない間質性肺炎、肺線維症のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性あり
- ・感染症合併、および発熱を有し感染症を疑われる患者[感染症が増悪し、致命的となることがある。]
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤注)に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者。
- ・他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤(5-FU、UFT、フトラフル、フルツロン、ミフロール、ゼローダ等)投与中の患者

その他(特記事項)

CDDP+DTXレジメン(No.27)とは、投与日、doseが異なる。
 Nadirはday8,9であり、好中球減少症や、FNには十分注意する。
 2コース遂行のためにG-CSFの使用も検討。